

放水立坑（上流水槽）水の分析結果

要約	分析値	160~200 (Bq/L) (700Bq/L未満の確認 ※1)
	計算比較	計算値 (77~306Bq/L) と同程度を確認 ※2

放射能分析 トリチウム

核種	採取日時	分析結果					
		東京電力HD			日本原子力研究開発機構 ※3		
		分析値 (Bq/L)	不確かさ ※4 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)	分析値 (Bq/L)	不確かさ ※4 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)
H-3	2025/3/10 14:12	1.8E+02	± 2.0E+01	5.6E+00	1.5E+02	± 2.9E+01	1.6E+01

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

- ※1 分析の不確かさや計器誤差等を考慮し、運用の上限値である1,500Bq/L（放出基準）を超えることがないように設定した値。
- ※2 分析値（180±20≒160~200）は、混合希釈の不確かさを考慮した計算値（77~306Bq/L）に入っている。
- ※3 ALPS処理水の海洋放出に関する政府の基本方針に基づく、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大熊分析・研究センターによる分析値。
- ※4 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。
「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数k=2」を用いて算出している。

ALPS処理水および海水流量

	系統	流量 (m ³ /h)		許容範囲 ※5	判定結果 ※6
		設定値	実測値		
ALPS処理水流量	A	13.29	13.08~13.42	±0.8m ³ /h	良
海水流量	B	— ※7	7,161以上	7,086m ³ /h以上	良

- ※5 ALPS処理水流量の許容範囲は、計器誤差（±0.8m³/h）を考慮し設定。
海水流量の許容範囲は、実施計画に記載している海水移送ポンプの容量（7,086m³/h）より設定。
- ※6 実測値が許容範囲を満たしていることを確認。
- ※7 海水移送ポンプの定格流量は7,086m³/h。